

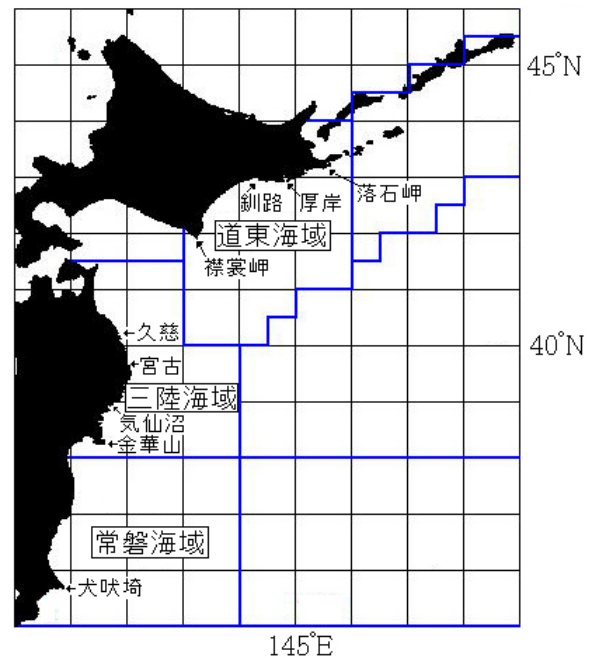
平成25年度 第7回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2013年11月中旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域は終漁。
- ・三陸海域では、低位水準で推移し、11月下旬は断続的となって終漁となる。
- ・常磐海域では、11月中旬～12月上旬は中位水準となる。



問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課

担当：渡邊、松尾

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

平成25年度 第7回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2013年11月中旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく、終漁となる。

(2) 漁場

漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

11月中旬は、低位水準で減少する。11月下旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月中旬～下旬は、金華山沖が漁場となる。

3) 常磐海域




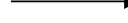



(1) 来遊量

来遊量は増加し、11月中旬～12月上旬は中位水準となる。12月上旬から減少し、12月中旬は低位水準となる。12月下旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月中旬～12月上旬は、常磐北部～南部が漁場となる。12月中旬～下旬は、常磐南部が漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量					
	動向					
	漁 場					
三陸海域	来遊量					
	動向	低位減少	断続的			
	漁 場	金華山沖	金華山沖			
常磐海域	来遊量					
	動向	中位増加	中位水準	中位減少	低位減少	断続的
	漁 場	北部～南部	北部～南部	北部～南部	南部	南部

3. 漁況の経過概要（10月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前旬や前年を下回り、低位水準であった。道東海域よりも南南東側の落石東南南東沖における来遊量の水準も、前旬を下回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は徐々に減少した。

(2) 漁場

道東海域では、落石南～襟裳岬東北東沖に漁場が形成された。落石南東20海里～襟裳岬東北東40海里付近（8～13℃）で、小型船の多くと大型船が操業。大型船で平均6トン、小型船は平均20トン程度漁獲した。なお道東海域よりも南南東側の、落石南南東140～190海里付近（8～13℃）では、22日夜と28～29日夜に大型船が数隻操業し、最高50トン、平均30トン漁獲した。

(3) 魚体

落石南～襟裳岬東北東沖では、体長26～28cmモードの中型魚主体であった。落石南南東沖では、体長30～31cmモードの大型魚主体であった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した三陸海域における来遊量の水準は、前旬を上回ったものの、前年を下回り、低位水準であった。三陸海域より東側の宮古東北東～金華山東沖では、前旬を上回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は期後半に増加した。

(2) 漁場

三陸海域では、気仙沼東～金華山東沖に漁場が形成された。気仙沼東～金華山東沖の40～50海里付近（16～18℃）では、27日夜以降、大型船35隻程度と小型船が操業し、大型船で最高120トン、平均51トン漁獲した。三陸海域より東側の宮古東北東160海里～金華山東160海里付近（11～16℃）では、大型船が35隻程度操業し、最高100トン、平均35トン漁獲した。

(3) 魚体

体長30～31cmモードの大型魚主体であった。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した常磐海域における来遊量の水準は、前旬を上回り、前年並の低位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は期後半に増加した。

(2) 漁場

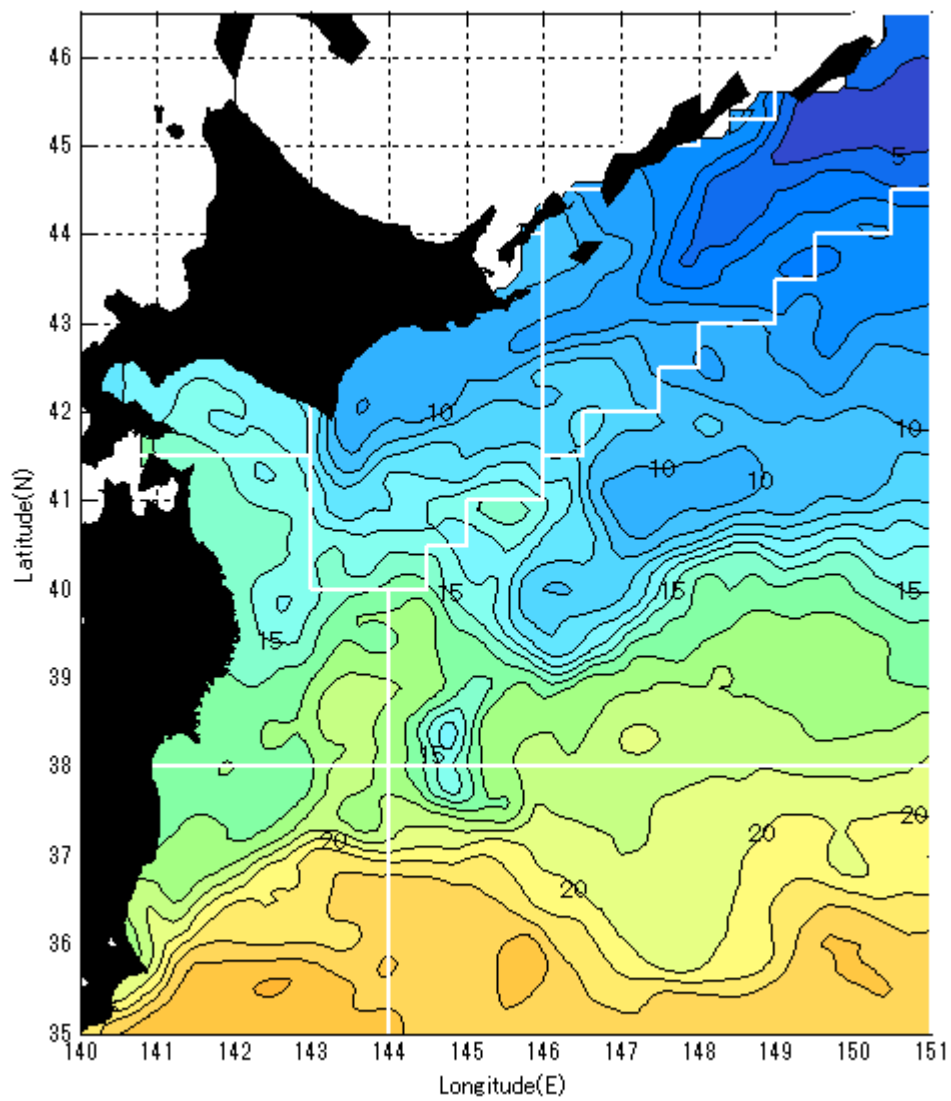
常磐海域では、金華山南東沖に漁場が形成された。金華山南東60～80海里付近（16～18℃）では、29日夜以降、大型船35隻程度と小型船が操業し、大型船で最高110トン、平均51トン漁獲した。

(3) 魚体

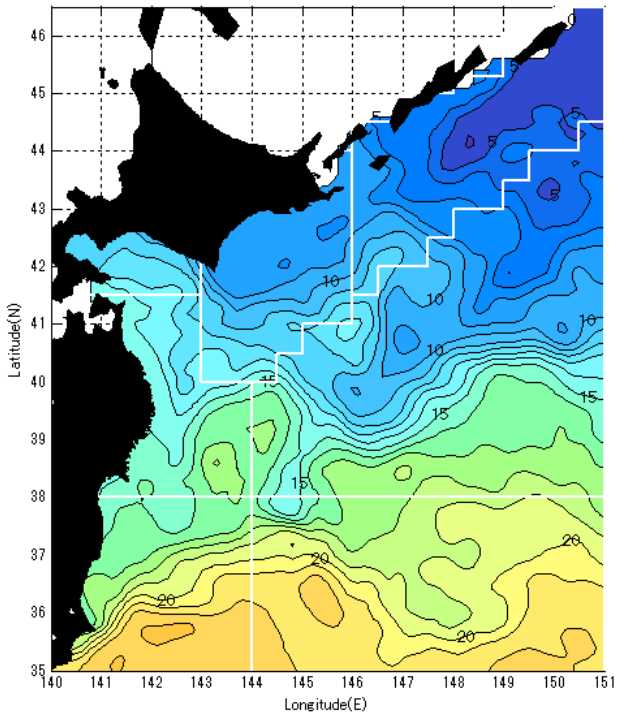
体長30～31cmモードの大型魚主体であった。

4. 予測水温分布図

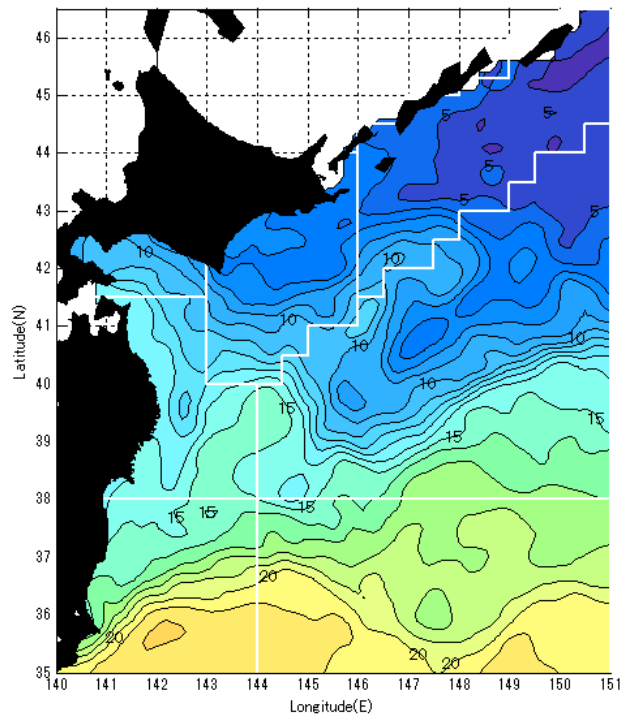
11月中旬予測表面水温分布図



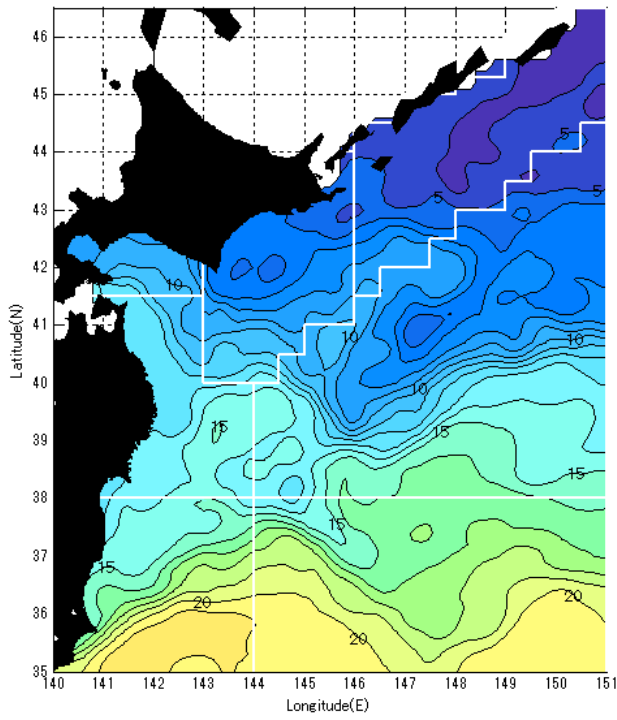
11月下旬予測表面水温分布図



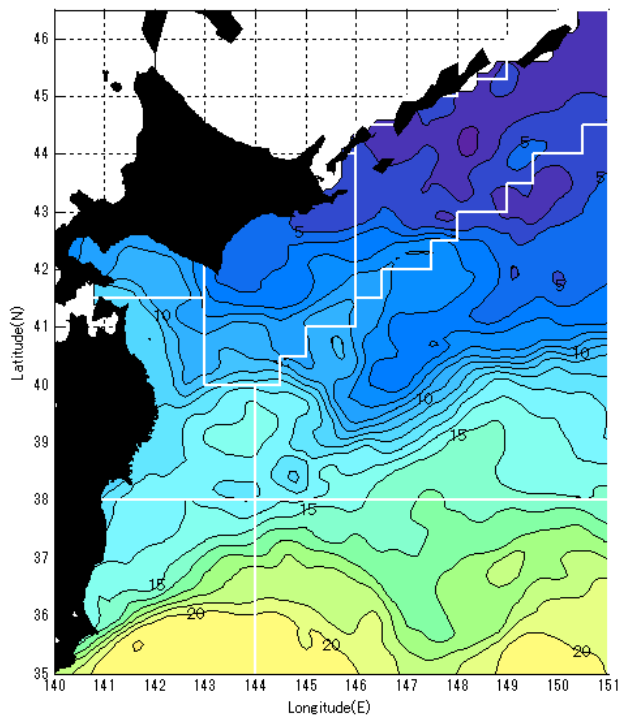
12月上旬予測表面水温分布図



12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	---